

令和3年10月8日

福知山市議会議長 様

会派名 大志の会
代表者名 桐村 一彦



政務活動費実績報告書

令和3年4月1日付け福議発第25-4号により交付決定のあった政務活動費において、令和3年度上半期（4月から9月）の政務活動が完了したので、福知山市議会政務活動費の交付に関する条例第10条第2項及び第3項の規定により、下記のとおり実績報告書を提出します。

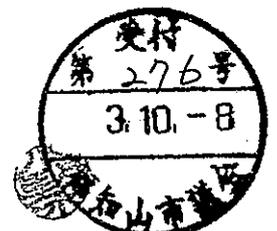
記

- 1 令和3年度政務活動費の額（上半期） 34,580円
- 2 政務活動費の対象となる経費の内訳

項目	金額（上半期）	主な支出内容
調査研究費		
研修費	34,580円	自治体議会セミナー、JIAM 参加
広報費		
広聴費		
要請・陳情活動費		
会議費		
資料作成費		
資料購入費		
人件費		
事務所費		
合計	34,580円	

添付書類

- ・政務活動の実施状況及び成果を確認できる書類
- ・政務活動費の収入額及びその内容に関する書類
- ・政務活動費の支出額及びその使途に関する書類
- ・政務活動費の支出に係る領収書の原本又はこれに準ずる書類



(様式 1)

令和3年9月30日提出

福知山市議会

議長 高橋正樹 様

会派名 大志の会

代表者名 桐村 一彦



政務活動費研究研修視察報告書

1 研修年月日 令和3年5月18日(火) 13:30~16:00

2 研修先 全議員協議会室 福知山市庁舎5階

3 参加者氏名 桐村 一彦 馬谷明美 2名

4 経 費 研修参加費 10,000円 (5,000円/1人あたり)

5 研修項目 2021年 地方議会特別セミナー in 福知山

講義 議員の資質向上と政務活動費活用策
《改革の底辺から底辺の改革へ》

講師 自治体議会研究所 代表 高沖 秀宜 氏
(元三重県議会事務局次長)

6 研修内容 別紙(様式2)

7 資 料 資料(別添資料 1)

8 経費精算書 (様式3)



日 時 令和3年5月18日（火） 13:30～16:00

2021年 地方議会特別セミナー in 福知山

講 義 議員の資質向上と政務活動費活用策

《改革の底辺から底辺の改革へ》

講 師 自治体議会研究所 代表 高沖 秀宜 氏

（元三重県議会事務局次長）

研修の内容

○議員の資質向上

議員の役割・機能 議員の役割・資質 「二元代表制」と「議会改革」

○政務活動費活用策

政務活動費とは何か 政務活動費の適正な運用 政務活動費と政策立案
政務活動費を巡る問題点

議会：議事機関 議決機関 事務執行機関に対する監視機能 政策形成、政策立案機能。

議会として議員の専門性を高める研修等を絶えず行い、二元代表制をどう捉えるかが重要。
議会は二元代表制を理解し、議会の役割、機能、議会改革を追求していかなければならない。
機関としての議会が実現されているかが重要であり、一人の意見は議会の意見ではない。
早稲田マニフェスト研究所の議会改革度調査（情報共有 住民参加 議会機能強化）
政務活動費の公開チェック 住民意見の議会活動への反映 議会基本条例の制定

政務活動費活用

積極的に調査研究を行うもの。住民福祉の増進のため、どのような議員活動を行うべきかを追求して、議員が自発的に行ない、活動の成果報告・政策立案能力向上に努める。
政務活動は議員のあり方、議会のあり方を大きく変える可能性を秘めている

評価

生きた政策を生み出すために市町村議員に求められる資質をしっかりと自覚し、地方としての生き残りをかけた市民協働への課題克服やウイズコロナ時代の市町村の役割に注力していく。

生きた政策を生み出すために市町村議員に求められる資質

- （1）市民の声を聴く意欲と能力
- （2）要望を消化して正しい政策目的を確立する行政能力
- （3）異なる政策分野を総合化する広い視野 イノベーション 異業種交流
- （4）市民との協働を最大限に生かす包容力

ウイズコロナ時代の市町村の役割の増大===現場も知恵が試されている！！

NO 1

支出科目： 研 修 費
合計金額： 10,000 円

領 収 書

大志の会 様

金 10,000 円

上記正に領収いたしました。
ただし、「自治体議会特別セミナーin福知山」受講料として。
@5,000 円×2 名分=10,000 円

令和 3 年 5 月 18 日

自治体議会研究所（三重県津市白山町二本木 545）

代表 高 沖 秀 宣  印

(様式 1)

令和3年9月30日提出

福知山市議会

議長 高橋 正樹 様

会派名 大志の会

代表者名 桐村 一彦



政務活動費研究研修視察報告書

- 1 研修年月日 令和3年7月20日(火)～7月21日(水)
- 2 研修先 滋賀県大津市唐崎二丁目13番1号 電話077-578-5931
全国市町村国際文化研修所(国際文化アカデミーJIAM)
- 3 参加者氏名 桐村 一彦 馬谷 明美 2名
- 4 経 費 研修参加費 13,800円
振込料 880円
交通費(JR乗車券) 9,900円
合計金額 24,580円(12,290円/1人あたり)
- 5 研修項目 令和3年度 第2回市町村議会議員特別セミナー
- ① 講義 本当に意味での「健康しが」へ
講師 滋賀県知事
三日月 大造 氏
- ② 講義 改めて議会とは何かを考える:政治学の知見から
講師 京都大学 大学院 法学研究科
教授 曾我 謙悟 氏
- ③ 講義 人口減少社会における地方自治体の役割
講師 明治大学 政治経済学部
教授 加藤 久和 氏
- ④ 講義 Society5.0時代の到来と行政のデジタル化
講師 東京大学 大学院 情報学環
教授 越塚 登 氏
- 6 研修内容 別紙(様式2)
- 7 資 料 視察研修行程表・資料(別添資料 1)
- 8 経費精算書 (様式3)



日時 令和3年7月20日（火） 13:15～14:45

講義 本当に意味での「健康しが」へ

講師 滋賀県知事 三日月 大造（みかづき たいぞう） 氏

研修の内容

○コロナを経験して ～危機を転機に～

課題の顕在化

- (1) グローバル経済への過信
- (2) 市場主義への偏重
- (3) 東京への一極集中
- (4) 医療保険システムの脆弱性 など 卒近代

危機感の高まり

- (1) いのち・健康の危機
- (2) 気候変動の危機
- (3) 戦争・民主主義の危機 など いのちを次の世代と共に生きる

コロナによって再認識

- (1) 人・社会・自然のつながりの大切さ
- (2) 未来へのバトンをつなぐ大切さ
- (3) 滋賀の強み 歴史・文化 自然環境 健康・長寿 高い環境意識

危機を転機に未来を変える ～ 助け合い 利他のこころ ～ 広域助け合い連携

○ポストコロナ社会へ

3つの健康 人の健康 : 生きる力、学ぶ力 人権と多様性

すまいる・あくしょん ～ 未来を生きる子供たちのために ～
子供の笑顔を増やしたい ところに寄り添いたい

社会の健康 : つくる、ひろげる力 共生社会

近未来技術の社会実装 IoT・AI・自動運転・ドローン・5G や、二酸化炭素
ゼロに通じる技術の事業化を支援

自然の健康 : 守る力、活かす力 生物多様性

マザーレイクゴールズ (MLGs) 2030年の持続可能社会の実現を目指

評価

三日月知事の 座右の銘：着眼大局 着手小局 の実践。現場主義の実践：先進的な取り組みや特色のある活動をされている県民の皆さんの取組等の現場を知事が訪問 7年間で78回。

生きた政策を生み出すために市町村長や議員に求められる資質をしっかりと自覚し、地方都市の生き残りをかけた市民協働への課題克服やウイズコロナ時代の役割に注力していく。

日時 令和3年7月20日(火) 15:05~16:35

講義 改めて議会とは何かを考える：政治学の知見から

講師 京都大学 大学院 法学研究科 教授 曾我 謙悟 (そが けんご) 氏

研修の内容

議会での決定=集合知なのか なぜ多数決で決めるのか そもそも多数決とは何か

議会という集合体の決定・・・賛成した人が多い・・・正当性
選択肢が三つ以上の場合、相対的多数から決選投票…選択肢を上位二つに絞る

うまく決められる時と決められない時がある。

議会での議論 考え方を变えるもの：バイアスからどう逃れるか
解決策はあるのか、選択肢を広げる：集団志向をどう乗り越えるか

議会が果たしうる様々な役割と可能性

話し合うことで、意見を変えることや新たな選択肢を探すこともある。
多様性を持つ強みと難しさ。強み弱みにあつた決め方を考える。
議員も同様であるが、有権者もバイアスを抱える存在であることを考慮しなければならない。

バイアス=素早く判断するための判断の傾向

人間が存在するために身に着けてきたもので自然なものである。

確証バイアス=自分が思っている証拠を探してしまう。

ハロー効果もある。

評価

政治学の見地からの議会としての役割について学んだ。
議会決定の重要性を再認識できた。

日時 令和3年7月21日（水） 9:00～10:30

講義 人口減少社会における地方自治体の役割

講師 明治大学 政治経済学部 教授 加藤 久和（かとう ひさかず） 氏

研修の内容

今後、50年間で総人口の1/3が（地方中心に）減少する。

地方消滅以降の議論を有効に活用

人口規模が小さく、人口密度が低い市町村ほど、人口減少の速度が速い。

第二期「まち・ひと・しごと創生総合戦略」

1. DXの推進と脱炭素社会の実現二に向けた取組。
2. 地方創生テレワークの推進。
3. 魅力ある地方大学の実現と地域産業の創出・振興。
4. 関係人口の創出・拡大。
5. 企業版ふるさと納税（人材派遣型）の創設。
6. スーパーシティ構想（AIやビッグデータを活用し、社会のあり方を根本から変える都市づくり）の推進。

現在の人口移動は東京圏に集中。

中心都市から東京に人が移動していることが問題。

コロナの影響で転入超過で推移したが、最近では転出超過に転じている。

急速な東京圏の高齢化に、中核都市を強化することで対応。

人口移動は雇用と密接な関係がある。東京一極集中をどう考えるか？

地方創生と自治体：その役割と課題

新たな国土づくりを考える必要がある。多極化・コンパクト化・集積化。

連携中核都市構想 令和3年4月1日現在、36市（34圏域）が連携中核都市圏を形成。

地方創生のための視点の整理：コストと効率性 人口と行政の効率化 人口密度と労働生産性 人口密度と出生率

※ 新たな視点

地方における人口減少・高齢化・過疎化に伴う行政区割りの見直し。

IT等技術革新・コロナ以降のオンライン化・マイナンバー導入などによる行政のあり方の変化（広域行政とコミュニティ支援行政）。

社会保障（医療・介護等）の役割分担に伴う地方行政の見直し。

地方自治体の役割を考える

フルセット主義からの脱却 広域連携への決断 コンパクト化

評価

人口減少を踏まえ、「集中と選択」は必須であり、「地方の時代」から「地方の中心地の時代」である。一極集中から多極化へ。地域間のネットワークを進め、ネットワーク内のコンパクト化を進めていかなければならない。

日時 令和3年7月21日(水) 10:50~12:20

講義 **Society5.0**時代の到来と行政のデジタル化

講師 東京大学 大学院 情報学環 教授 越塚 登 (こしづか のぼる) 氏

研修の内容

デジタルの課題

IT・ICTの課題 コロナにより脆弱性露呈・・・デジタル庁、マイナンバー、データ戦略が必要。

デジタル技術で国民の日常は大きく変わった。スマホ・SNS・デジタルカメラ等。デジタル技術(IT・ICT)は、それに合った仕事のやり方をしないと有効に働かない。 制度改革・業務改革・組織改革がカギ!。

デジタル化・DXの構造。

付加価値の向上・・・業務の効率化・・・提供価値の向上
ツール中心のDX? 人間中心のDX?

デジタル3原則

デジタルファースト ワンスオンリー コネクテッド・ワンストップ

サービス設計の12箇条

利用者のニーズから出発する。事実を詳細に把握する。エンドツーエンドで考える。全ての関係者に気を配る。サービスはシンプルにする。デジタル技術を活用し、サービスの価値を高める。利用者の日常体験に溶け込む。自分で作りすぎない。オープンにサービスを作る。何度も繰り返す。一遍にやらず、一貫してやる。情報システムではなくサービスを作る。

地方公共団体におけるデジタル・ガバメントの推進

行政手続きのオンライン化。情報システム等の共同利用。AI・RPA等による業務効率化。オープンデータ。ガバナンス強化と人材確保・育成。デジタル・ガバメントの構築に向けた地方公共団体の官民データ活用推進計画策定。

Society5.0=サイバー空間とフィジカル空間を高度に融合させたシステムにより、経済発展と社会的課題の解決を両立する。人間中心の社会 (Society)

《1.0 狩猟社会・2.0 農耕社会・3.0 工業社会・4.0 情報社会》

評価

現在「5G」の言葉を聞かない日がないくらいですが、すでに「6G」も研究スタートしていると聞く。今後、急速で目まぐるしい技術革新が進み、AIやロボットの存在がより以上に身近になってくる。行政や社会におけるスマートシティ化が進み、働き方や生活への影響が大きくなっていくのは確実であろう。しかし、あくまでも便利なツールとして、人間らしさ、曖昧さ、喜怒哀楽は大切にしたいものである。(私見)

(別添資料)

大志の会 行政視察・研修 行程表

- 1 研修年月日 令和3年7月20日(火)～7月21日(水)
- 2 研修先 滋賀県大津市唐崎二丁目13番1号 電話077-578-5931
全国市町村国際文化研修所(国際文化アカデミーJIAM)
- 3 参加者氏名 桐村 一彦 馬谷 明美 2名

7月20日(火)

福知山市====JRにて移動====滋賀県 大津市唐崎

滋賀県 全国市町村国際文化研修所(JIAM)

7月21日(水)

滋賀県 大津市唐崎====JRにて移動====福知山市

※ 宿泊場所 滋賀県 全国市町村国際文化研修所(国際文化アカデミーJIAM)

(様式 3)

経費精算書

会派名 大志の会

- 1 研修年月日 令和3年7月20日(火)～7月21日(水)
- 2 視察研修先 滋賀県大津市唐崎二丁目13番1号 電話077-578-5931
全国市町村国際文化研修所 (国際文化アカデミーJIAM)

(単位:円)

支出月日	支出項目	支出金額	領収書 No.
7月9日	研修費 参加代	13,800円	NO①
7月9日	研修費 振込料	880円	NO②
7月19日	研修費 交通費	9,900円	NO③
支出合計金額		24,580円	

支出科目： 研 修 費 (参加費)
合計金額： 6,900 円

領 収 書

福知山市議会 大志の会 様
桐村 一彦

金額 6,900 円

但し、

令和3年度第2回市町村議会議員特別セミナー(来所による受講)

の 研修に要する経費

として上記の金額を領収いたしました。

令和3年7月9日

〒520-0106
滋賀県大津市唐崎二丁目13番1号

公益財団法人全国市町村研修財団
全国市町村国際文化研修所
分任出納役 小林 肇

領収書No. 93

支出科目： 研 修 費 (参加費)
合計金額： 6,900 円

領 収 書

福知山市議会 大志の会 様
馬谷 明美

金額 6,900 円

但し、

令和3年度第2回市町村議会議員特別セミナー(来所による受講)

の 研修に要する経費

として上記の金額を領収いたしました。

令和3年7月9日

〒520-0106
滋賀県大津市唐崎二丁目13番1号

公益財団法人全国市町村研修財団
全国市町村国際文化研修所
分任出納役 小林 肇

領収書No. 92

支出科目： 研 修 費 (振込手数料)
合計金額： 880 円

電信扱

預金払戻請求書
預金口座振替による振込受付書 (兼振込手数料受取書)

ご依頼日 年 月 日
03 07 09

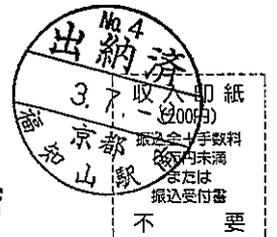
振込金受取書

京都銀行	銀行 信金 信組 農協 労金	振込金額	8800 円
お受取人 おなまえ (公野) 金口市町村研修財団 金口市町村国際文化研修所 様	フリガナ サ イ ト セ ン コ ク シ テ ヨ ウ ソ ン ケ ン シ ュ ウ サ イ タ ン セ ン	ご依頼人 おなまえ 福知山市議会 大志の会 様	フリガナ フ ク チ ヤ マ シ キ ー カ イ タ イ シ ノ カ イ
(おところ) 福知山市内記13-1 (日中のご連絡先) 0773 24 2001	手数料 (消費税込み) 領収済	未領収 (後納扱)	880 円

○行をご利用いただきましてありがとうございます。
今後ともよろしくお願い申し上げます。

株式会社 京都銀行

福知山駅南支店



- ※ このお振込には、振込規定が適用されます。
- ※ 振込依頼書に記載相違等の不備があった場合には、照会等のために振込が遅延することがあります。
- ※ やむをえない事由による通信機器、回線の障害等によって振込が遅延することがありますのでご了承ください。

支出科目： 研 修 費 (交通費)

合計金額： 9,900 円

領 収 書		大志の会 様	
Receipt	領収年月日	2021.-7.19	
金額	¥9,900 (消費税等込み)		
上記金額確かに領収いたしました			
購入商品	JR乗車券類 JR tickets		
(40172 6枚)			
西日本旅客鉄道株式会社			
福知山駅			
福知山駅MK1発行	50173-01	印紙税申告納 付につき大定 税務署承認済	

JRチケット代

7月20日	福知山—唐崎	乗車券代	1,980円
7月20日	福知山—京都	特急券代	990円
7月21日	唐崎—福知山	乗車券代	1,980円
合計			4,950円

上記 2名分 9,900円